

# 学校だより



射水市立小杉南中学校  
第 8 号

街路樹が赤や黄色に色づく光景に、秋の深まりを感じる頃となりました。しかしながら、朝夕の冷え込みは日に日に厳しくなっており、日によっては日中でも冬の到来を思わせるような寒さを感じることがあります。体調管理には十分に注意して過ごしたいものです。

気が付けば2学期も折り返し点を過ぎ、あとひと月あまりで冬休みを迎えます。たくさんの行事や活動をこなす中で生徒たちはその分成長し、絆を深めてきました。この後は、日頃の学習や委員会活動、部活動等に真剣に取り組むよう励ましながら、学校生活を落ち着いて過ごさせていきたいと思えます。引き続き保護者の皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いたします。



## 文化の秋・スポーツの秋



### 写生大会

1学期の2年生に続いて、2学期に入り1年生と3年生の写生大会を行いました。1年生は天池公園で、3年生は校舎周辺で、それぞれ秋の風景を描きました。1年生は初めての写生大会、そして3年生は中学校生活最後の写生大会でした。特に3年生は、3年間の思いを込めてスケッチブックに向かっていったようでした。どちらの学年もたくさんの素敵な作品が仕上がりました。



### 県選抜大会



1、2年生の新チームで、男子卓球、柔道、女子剣道、男子バレーボールの4つの部が高岡地区新人大会を勝ち上がり、県選抜大会に出場しました。柔道では1名が個人戦で優勝という、明るいニュースを学校にもたらしてくれました。他の部、種目では上位入賞は叶いませんでしたが、来年に向けてよい経験ができたのではないかと思います。保護者の皆様、温かい応援をありがとうございました。



### 吹奏楽部アルバムコンサート&市吹奏楽フェスティバル参加



吹奏楽部は、10月7日(土)に小杉文化ホールラポールにてアルバムコンサートを開催しました。来場したたくさんの生徒や保護者の方々の前で、コンクールで演奏した曲やポップス、ディズニーの曲等を演奏し、観客を魅了しました。また、11月5日(日)には市吹奏楽フェスティバルにも出場し、楽しいステージを繰り広げました。音楽を通して多くの人に感動を届け、豊かな時間を過ごさせてくれた吹奏楽部の皆さん、お疲れ様でした。



### 合唱コンクール



今年の合唱コンクールは、本校の創校40周年記念式典と併せて、小杉文化ホールラポールで開催しました。一段と音響のよい会場で、どのクラスも素晴らしい合唱を披露してくれました。合唱は1人ではできません。仲間と心を合わせて1つのものを創り上げ、共に同じ感動を味わうことこそ素晴らしい体験です。コンクール前からの練習への取組も素晴らしく、この行事を通して深まったクラスの絆はかけがえのないものになったと思います。ご来場いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



→裏へ

## 創校40周年記念式典を終えて

10月28日（土）、午前中の合唱コンクールに続いて、午後に小杉文化ホールラポールにて創校40周年記念式典を挙行了しました。市教育長や市議会議員の方々、ここ10年間の歴代の校長先生方やPTA会長の皆様、近隣の小学校、高校の校長先生方、地域の方々等、たくさんの来賓の方々にご臨席いただき、盛大に開催することができました。



式辞では、生徒に自分の学校への誇りや感謝を感じてもらいたいと思い、スライドを使って小杉南中学校の歩みを紹介しました。その後、来賓の方々からお祝いの言葉をいただき、同窓会より記念にパイプ椅子をご寄贈いただきました。改めて多くの方々を支えている学校であることを実感しました。



記念品目録贈呈

記念演奏として、Jスコラーズ合唱団によるステージがあり、プロの本格的な

合唱を堪能しました。全校生徒とのコラボ合唱「カイト」や吹奏楽部



とのコラボ「Beauty & the Beast」も素晴らしかったです。

来賓の方々に、「校歌をあれほど高らかに上手に歌う南中生は素晴らしい。」「『カイト』を聴いて鳥肌が立った。感動した。」「吹奏楽部、素敵だった。」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。今年在籍していたことで味わえた特別な日の感動や思いを、



喜びの言葉

これからも大切にしていきたいと思います。

お世話いただいた実行委員の皆様、お忙しい中ご尽力ありがとうございました。

## がんばっています！ボランティア活動

10月の中太閤山地区「感謝の敬老会」では2年生の有志数名がお年寄りと一緒に踊りやゲームで交流しました。また、11月初旬の放課後には、地域の高齢者施設を100名以上のボランティアの生徒が訪問し、窓拭きや落ち葉の片付け等のお手伝いをさせていただきました。これからも地域とのつながりを大切にし、心豊かに成長してほしいと願っています。



## 人権教育講演会開催

「人を大切にできる自分になるために～みんなでいじめと向き合おう～」

11月13日に富山法務少年支援センターから講師をお招きしていじめに関する講話を聞きました。心に響くお話で、それぞれが自分の心と向き合うことができた貴重な時間となりました。

### 要旨

- ・ 知らず知らずにでも相手を傷つけてしまったら、それはいじめとなる。悪意がなくても人を傷つけてしまったら謝ることが大切。いじめを受けた人は心のエネルギーを奪われてしまうもの。自分の言葉で相手を傷つけてしまったのでは…と想像する力をもってほしい。
- ・ 最近は SNS 上でのいじめ（ネットいじめ）が多い。SNS だと罪の意識が薄くエスカレートしがちである。仲間はずれ、動画や写真の投稿や拡散、事実ではない主観的な思いからの誹謗中傷をしてはいけない。逮捕に至るケースもある。
- ・ 人を大切にすることは自分を大切にする。人をいじめることは「自分いじめ」である。どんな大人になりたいか考えよう。周りの人の気持ちに気付いてあげることが大切では。
- ・ 人はだれかを好きになる権利同様、嫌いになる権利も確かにもっている。しかし、嫌いだからと傷つけてよいわけではない。いつか自分も気が合わない人に傷つけられるだろう。違う感性の人とは、たとえ分かり合えなくても認め合うことはできる。「みんなちがってみんないい」それぞれの個性を認め合える学校にしてください。

